

サンドラの週末 (2014)

DEUX JOURS, UNE NUIT
TWO DAYS, ONE NIGHT

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 ベルギー／フランス／イタリア

色彩 Color

時間 95分

初公開日 2015/05/23

公開情報 ビターズ・エンド

映倫 G

【キャッチコピー】

月曜日、見つけ出すのは
自分が生きる証

【解説】

「息子のまなざし」「少年と自転車」のジャン＝ピエール&リュック・ダルデンヌ監督が、「エディット・ピアフ～愛の讃歌～」 「君と歩く世界」のマリオン・コティヤールを主演に迎え、労働者の連帯をテーマに贈る社会派ヒューマン・ドラマ。会社から突然解雇を宣告され、それを免れるために同僚たちの協力を仰ぐべく、一人ひとり説得して回るヒロインの運命を描く。

夫と共働きで2人の小さな子どもを育てる工場労働者のサンドラ。体調不良による休職から復帰しようとした矢先、会社から解雇を言い渡されてしまう。アジア勢に押され、経営の苦しい会社としては、社員にボーナスを支給するためにはやむを得ない措置だという。それを撤回してほしいければ、同僚16人のうち過半数がボーナスを諦めることに賛成する必要があるという。投票が行われるのは月曜日。サンドラに残された時間はこの週末だけ。“自分のためにボーナスを諦めてほしい”と頼むことがどんなに厚かましいお願いかは百も承知ながら、もはや他に選択の余地がないサンドラは、悲壮な思いで同僚への説得行脚を開始するが…。

【クレジット】

監督	ジャン＝ピエール・ダルデンヌ	Jean-Pierre Dardenne	
	リュック・ダルデンヌ	Luc Dardenne	
製作	ジャン＝ピエール・ダルデンヌ	Jean-Pierre Dardenne	
	リュック・ダルデンヌ	Luc Dardenne	
	ドゥニ・フロイド	Denis Freyd	
製作総指揮	デルフィーヌ・トムソン	Delphine Tomson	
脚本	ジャン＝ピエール・ダルデンヌ	Jean-Pierre Dardenne	
	リュック・ダルデンヌ	Luc Dardenne	
撮影	アラン・マルコァン	Alain Marcoen	
美術	イゴール・ガブリエル	Igor Gabriel	
衣装	マイラ・ラマダン・レヴィ	Maira Ramedhan Levy	
編集	マリー＝エレーヌ・ドゾ	Marie-Helene Dozo	
出演	マリオン・コティヤール	Marion Cotillard	サンドラ
	ファブリツィオ・ロンジョーネ	Fabrizio Rongione	マニユ
	クリステル・コルニル	Christelle Cornil	アンヌ

オリヴィエ・グルメ
カトリーヌ・サレ
ピリ・グロイン

Olivier Gourmet
Catherine Salee
Pili Groyne

ジャン＝マルク
ジュリエット
エステル